

中城湾新港地区 振興実現を要請

県に地元2協議会

中城湾新港地区協議会（名護宏雄会長）と中城湾港開発推進協議会（会長・島袋俊夫うるま市長）が10日、県庁に川上好久副知事を訪ね、東西埠頭間連結道を



路の整備や定期船就航、多機能型物流倉庫設置など中城湾新港地区の振興策の実現を要請した＝写真。

川上副知事は定期船就航については「ニーズのある分野やマーケット、物流の状況などを把握したい」と述べ「要請項目の一つ一つを点検しながら前へ進めていきたい」と述べた。

名護会長は、東日本大震災時の避難の際、帰宅車両で大渋滞になったことを説明。「避難タワーなどの防災設備を整備してほしい」と要望。島袋会長は立地企業や地域住民の安心、安全のため保安灯と防犯カメラの設置を求めた。

中部選出の県議も同行し、早期の対応を求めた。